

■ 農作物の生育状況と今後の対策等（6月）

令和8年6月22日
青森県三八農林水産事務所
農業普及振興室

I 土地利用型作物

1 水稲

(1) 作業進ちょく状況

管内の田植最盛期は平年より1日遅く、終わりは4日遅い6月3日となり、八戸市、五戸町で田植作業が年々遅れてきている。

表1 田植え進捗状況

	田植え		
	本年	平年	平年差
始め（進ちょく率5%）	5/15	5/16	早1日
最盛期（進ちょく率50%）	5/23	5/22	遅1日
終わり（進ちょく率95%）	6/3	5/30	遅4日

(2) 本田の生育状況

5月23日の低温やヤマセの影響を受けた地域の生育が停滞している。

(3) 今後の対策・指導等

天候に合わせて適正な水管理をする。

（浅水管理による分けつ促進、高温時に適宜水の入れ換え、適期の中干し）

除草剤を適期かつ適正に散布する。

（後発のヒエ及び広葉・多年生雑草の対策）

農作業履歴の記帳をする。

（特に使用農薬の記録）

2 小麦

(1) 生育の状況

生育観測ほの出穂期は5月14日で平年より4日早く、開花期は5月19日で平年より6日早かった

6月10日の調査では、稈長は68.5cmで前年より20.7cm短く、穂長は10cmで前年より1.4cm長い。㎡当たり穂数は362本/㎡で前年より59本少なかった。

生育観測ほの出穂後の積算温度による予想刈取適期（830～950℃）は、7月4日～7月10日の見込みである（6月10日現在）。

表2 小麦生育観測ほ生育状況（6月10日調査）

調査地：八戸市市川

年次	は種日	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数 (本/m ²)	出穂期	開花期
本年	10月9日	68.5	10.0	362	5月14日	5月19日
前年	10月9日	89.2	8.6	421	5月17日	5月27日

(2) 今後の対策・指導等

品質が低下しないよう適期に刈取りを行う。

3 大豆

は種は、八戸市市川地区大豆転作営農組合が6月11日に終了し、五戸町農事組合法人くらいしは、6月11日現在作業に取りかかっていない。

II 野菜

1 ながいも

(1) 生育、作業の状況

生育観測ほの植付け日は、平年より1日遅い5月8日だった。6月10日現在、萌芽は始まっていない。

一般ほ場の植付け作業は、平年並の5月3日頃から始まり、6月10日現在は終盤となっている。

(2) 今後の対策・指導等

ほ場周辺の明きよなど排水対策を実施する。

支柱立て・ネット張り作業を遅れないよう進める。

ナガイモコガのほか、種いもほ場ではアブラムシ類の防除を徹底する。

2 ねぎ

(1) 生育の状況

生育観測ほの生育は、草丈は61.0cmで平年比87%と平年を下回り、茎径は16.1mmで平年比96%と平年をやや下回っている。

病害虫はさび病、アザミウマ類の食害やハモグリバエの産卵痕、食害がみられるが発生量は少ない。

一般ほ場の生育は概ね順調である。

表3 ねぎ県生観ほ生育状況（6月10日調査） 調査地：八戸市是川

年度	定植期					6月10日現在 (本年調査日：6月10日)	
	品種名	は種期	育苗 状況	定植期	活着 状況	草丈	茎径
		(月日)		(月日)		(cm)	(mm)
本年 (平年比)	はやぶさ7	12/4 早15日	良	3/16 早9日	良	61.0 87%	16.1 96%
平年	夏扇パワー	12/19	—	3/25	—	70.0	16.8
前年	夏扇パワー	1/5	良	4/1	良	65.5	17.0

※平年はH28～R7の平均値

(2) 今後の対策・指導等

降雨が続くとべと病がまん延しやすいので、防除を徹底する。
軟腐病対策として粒剤施用による予防を徹底する。
培土は、太さを確認しながら、高温の時間帯を避け、早朝に実施する。

3 にんにく

(1) 生育の状況

草丈及び茎径は、平年に比べ五戸・新郷ではやや上回っており、田子では並、旧倉石では下回っている。
生葉数は、平年並～下回っている。
球径及び球重は、平年に比べ五戸・新郷・田子では上回っており、旧倉石では下回っている。
病害は、五戸・新郷で春腐病・さび病、旧倉石でさび病がみられている。
りん片分化期後の積算気温による予測では、収穫時期は直近10か年の平均より3～5日程度早いと見込まれる。

(2) 今後の対策・指導等

ほ場ごとに必ず試し掘りを行い、適期に収穫する。
乾燥設備を点検するとともに、温度、通風、換気の3つのポイントをおさえて、しっかりと乾燥させてから、種子用と販売用に分け、隔離して保管する。

表4 にんにく生育観測ほ調査結果（6月10日調査）

調査地点	年次	品種系統	植付日	マルチ	りん片 分化期	草丈	生葉数	莖径	球径	球重
						(cm)	(枚)	(mm)	(mm)	(g)
五戸 (桜沢)	本年	白玉王	10月7日	グリーン	4月13日	87.9	8.1	22.0	72.6	126.0
	平年比		8日遅い		1日早い	106%	99%	106%	113%	123%
	*平年		9月29日		4月14日	82.9	8.2	20.8	64.0	102.5
	*前年	白玉王	10月6日	グリーン	4月18日	87.5	8.1	22.8	62.9	100.5
旧倉石 (倉石中市)	本年	在来種	10月7日	グリーン	4月12日	78.9	7.3	17.2	56.8	71.6
	平年比		6日遅い		3日早い	90%	89%	91%	93%	77%
	平年		10月1日		4月15日	87.2	8.2	18.8	61.2	92.7
	前年	在来種	10月2日	グリーン	4月21日	86.0	8.4	21.1	53.9	69.8
新郷 (扇ノ沢)	本年	在来種	10月4日	グリーン無穴	4月13日	83.3	7.5	20.1	64.2	98.7
	平年比		1日遅い		4日早い	103%	93%	104%	106%	113%
	平年		10月3日		4月17日	81.0	8.1	19.3	60.7	87.4
	前年	在来種	10月3日	グリーン無穴	4月21日	83.2	8.2	21.4	62.3	89.0
田子 (日ノ沢)	本年	白玉王	10月5日	黒	4月12日	80.1	7.4	18.2	64.1	96.7
	平年比		2日早い		4日早い	97%	93%	97%	107%	112%
	平年		9月30日		4月16日	82.3	8.0	18.8	60.0	86.4
	前年	白玉王	9月28日	グリーン	4月21日	85.0	8.3	20.5	56.0	76.9

注) 平年値について

五戸：H28年～R7年までの過去10年間の平均値（R3から調査地点変更）

旧倉石：H28年～R7年までの過去10年間の平均値

新郷：H28年～R7年までの過去10年間の平均値

田子：H28年～R7年までの過去10年間の平均値（黒マルチのR2年は除く）

表5 にんにく生育観測ほ病害発生程度調査結果（6月10日調査）

場所	春腐病	さび病	葉枯・ 黄斑病	欠株	二本立ち
五戸	18%	7%	0%	0%	0%
旧倉石	0%	4%	0%	0%	1%
新郷	33%	1%	0%	0%	2%
田子	0%	0%	0%	0%	0%

4 トマト

(1) 生育の状況

生育観測ほの定植期は5月9日で、平年より2日早かった。定植前には最低気温が平年を下回る日もあったが、地温は確保され活着は良好であった。

第1花房の着果節位は7.3節で、過去5か年平均(7.4節)と同等であった。1段目の開花期は平年並の5月26日で、現在は3段目の開花が始まっている。

病害虫の発生は特に見られないが、生長点付近の葉の萎れ症状が散見されており、天候の変化による急激な温度上昇の影響と考えられる。

一般ほ場では、定植後の活着及びその後の生育は概ね順調であるが、生育観測ほ同様萎れ症状が散見される。病害虫では灰色かび病が散見されるほか、一部のほ場でトマトキバガの発生がみられている。

表6 トマト県生観ほ生育状況

調査地：三戸町斗内

年度	品種名	定植期 (月日)	育苗・活着	1段花房	
				開花期(月日)	着果数(個)
本年 (平年比)	りんか409 (自根)	5/9 (2日早)	良好	5/26 (±0日)	— (—%)
平年	りんか409	5/11		5/26	4.1
前年	りんか409	5/12	良好	5/29	3.8

(2) 今後の対策・指導等

樹勢や天候に応じたかん水や、追肥を実施する。

高温や湿度が高い時は積極的に換気する。

定期的な薬剤散布により病害虫防除を実施する。